

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者個々の自立支援に向けて、日常生活に不安を抱かせない事や、混乱させないように、職員がケア方法を統一していくこと。	利用者個々の課題点を話し合い、職員全員が共有して、支援にあたること。	職員全員が、利用者の介助を行う中で、困り事や不安感があれば、引き継ぎノートや職員会議で解決策を話し合いを行う。	12 か月
2	33	グループホームでも、終末期ケアをしていくことが増えているが、職員に看取り支援の焦りや不安感がある。	終末期ケアについての知識や介助方法を、職員全員が習得していく。	事業所内の勉強会で職員が知識不足を補い、利用者に対して、安心感が持てる対応ができるようになること。	24 か月
3	7	介護保険法で定められている高齢者虐待についての取り組みは、当施設では「身体拘束廃止委員会」や「身体拘束について研修会」で学習しているが、意識して介護を行っていない。	高齢者虐待についての知識を得ること。介護の質の向上を目指す。	施設内勉強会での学習。職員が虐待について意識づける為に、職員同士が不適切介護を注意し合える環境づくり。	24 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。